

◆まちづくり地域優良事例集◆

託麻まちづくりセンター

小山山の里山整備事業



〈取り組みの内容〉

山を囲む5つの自治会メンバーが参加しているグループです。里山協議会のメンバーで、小山山（東区の小山2カ所と平山町3カ所）の草刈り作業を行っています。下草刈りは基本的には5月・6月・7月・9月の年4回ですが、その他にも、伐採した竹で展望台やオブジェを制作したり、里山についてのクイズゲームを行ったり、子どもたちと料理を作ったり、花の苗を植えたりする啓発イベントを開催しています。

〈取り組みで起きた変化〉

整備する前は、登山者も1日あたりごくわずかでしたが、整備を始めて、遊歩道ができると20人くらいに増えたんです。小山山には、地藏さんや観音さんをお祀りするほこらが数十カ所あるんですが、それを管理されている方が、よりいっそう管理に力を入れるようになりましたね。

一番嬉しいのは、それまでは散歩だけだった人が声をかけてくれたり、活動に参加してくれたり、自ら花を植えたりして、企業や小学校・保育園などが団体でも参加してくれるようになり、里山づくりの輪が広がっていることです。



〈取り組みを始めようと思った経緯・きっかけ〉

竹が小山山の半分位を覆いつくすほどに成長して荒れ山になってしまっていたので、昔の「里山」の風景を取り戻し、子どもたちに自然の中で遊ぶ喜びを伝えたい！と強く思ったのがきっかけです。竹が道路のすぐ脇まで迫っていて、車道は狭くなり、交通安全にも影響するほどでした。周りの雰囲気も暗くなってしまうし、ゴミの不法投棄などが相次いでいたので、防犯上の観点からもこの活動を始めました。

〈今後の展望〉

メンバーの想いは“これまで長く暮らしてきた町に、少しでも恩返しをしたい！”というもの。別に見返りを求めているわけではないので続けられていると思います。身体を動かすので健康づくりにもいいし、きれいになっていく里山をつぶさに見られるので達成感もあります。メンバーの平均年齢は70歳くらいなので、年に数回の集まりが、安否確認や情報交換の場となっています。

今後は、里山らしい面積を拡げ、小山山、里山遊歩回廊やキャンプ場、マウンテンバイクの走行ができるスペースを設けたりして、自然に興味を持つきっかけづくりもしていきたいです。



小山山里山づくり協議会
会計 津田 弘徳 さん